



Title	形象 7号 表紙
Author(s)	
Citation	形象. 2026, 7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/104212
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【形象論研究会綱領】

描く人の倫理と冒険——われわれの問いのめざすもの

【特集1】危機のイメージ／イメージの危機——形象のゆくえを三つのKから考える

「作戦行動をとる」知識人の使命

——ベンヤミン「技術的複製可能性の時代における芸術作品」における言説戦略——竹峰義和
現代イギリスの「公式戦争アート」について——石田圭子

一九二〇年代末のパウハウスにおける人間観

——早すぎたポストヒューマニズムか、遅すぎたヒューマニズムか——三木順子
人間の彼方からうたう——破局からの詩学のために——柿木伸之

【特集2】モダニズムの政治学をめぐって

アドルノ「今日の機能主義」再考——目的と無目的、想像力と即物性との間で——府川純二郎

紙面と壁面のはざままで——両世界大戦間期フランスにおける写真の展開——磯谷有亮

ネガティヴ・モダニズム——ハンス・ゼーデルマイヤと戦後ドイツのモダニズム芸術論——宮望

アルフレッド・H・バー・Jr.によるモダニズム美術史の創造と「甦った」抽象美術

——第一次世界大戦期における政治との連関から考える——石田圭子

【一般論文】

記憶の痕跡の中のユートピア——アドルノはなぜ子ども時代を語るのか——高橋奏子

形象

Bild
Image
Gestalt
Form
Figur

形象論研究会

Volume 7
2026

形象

Bild
Image
Gestalt
Form
Figur

7

Volume 7
2026